

## アメリカに (2)

昨日の飛行機がリスケされてた。  
通路側で席とってたのに中央になったこととか、  
少し余裕をもって予約してた乗り継ぎ便までの時間が、  
短い便で設定されたこととか、不満と不安...  
とはいえ、最終目的地まで同じ飛行機会社でチケットとっというてよかった。  
大変だったけど、ちゃんと目的地のラスベガスまで到着できました。

## イタリアン

学会会場で、I先生とお話したながれで食事へ。  
特にあてもない二人だったので、とりあえず明るい方向に歩きますかね、と。  
ジャンクフードでもいいですかねー、なんて、うろうろしてたのだけど、  
でっかい看板が目にとまった Battista's Hole in the Wall へ。  
結果、とってもよかった。  
\$29 のパスタセットを頼んだら、  
フリーのハウスワイン(赤・白)、葉野菜中心のサラダ、食後のカプチーノがついてきた。  
パスタも、アメリカではじめて出会う、ちょうどよい茹で加減。

## 大変だった... 詳細

離陸はほぼ予定通り。  
着陸も予定通り... と思いきや、  
乗り継ぎに使える時間が1時間45分しかないのにも関わらず、  
乗り継ぎ空港のSFOに着陸したもののゲートが混んでるとのことで30分くらい機内で待機。  
で、降りてみると入国審査の列がびっしり...  
もうダメか、と思ったら、ちょうどレーンの端に近いタイミングで、  
米国民のための窓口向けのレーンが開放されてそっちの列に移動、  
さらにMPCとか何か特権とをもってそんな人のレーンも開放されて、さらに移動、  
ありがたかったけど、レーンそのものは変更せずに送り出し先を増やすのが  
並んでいる人間に対してはフェアな気もする...  
多分、僕の10くらい前で並んでた人は、メチャクチャ腹立たしかったんじゃないかなあ。  
で、移動先のレーンの前の方には家族連れが多かったために、  
列自体はさくさくすすむのだけど、最後の最後で時間がかかる。  
じりじりと待つだけだったけど、搭乗前20分くらいで入国審査カウンタに通された。  
今回は、特に何もつっこんだ質問もされず、写真とって通してもらえた。  
そこから、ターミナル1　ターミナル2と搭乗ゲートのセキュリティまでダッシュ。  
荷物あずけてなくてよかったー。  
途中でターミナル1の電光掲示板を確認するも、目当ての便が表示されていないことに不安を感じつつも、  
機内で確認した、出発ターミナルは2、というのを信じて走ってターミナル2を目指す。  
はたして、ターミナル2の電光掲示板にはお目当ての便がのってて、一安心。ここで搭乗前10分。  
つづいてのセキュリティはセキュリティで4本くらいレーンがあるのにかかわらず1レーンしか稼働してない。  
... もう10時すぎてるんだし、普通にあげて欲しい気がする。  
入口のお姉さんに「搭乗まで時間ないんだけど、すいてるセキュリティないの？」って聞いてみ

たら、  
「ない。『急いでる』って言って前の人に順番ゆずってもらったら？」とのアドバイス ...  
まじかー、と思って、しばらく、まごまごしてたけど、時間ばかりたつので、  
アドバイス通り、順番ゆずってもらって先に抜けさせてもらうことに。  
みんな優しくてよかった。  
すでにセキュリティ検査のキューに入ってる人のまでは追い越せないよなあ、と、  
じりじりしながら検査通過を待って、  
でてきた荷物から靴だけ取り出して履いて、あとは全部カバンに。  
ベルトもしめずにゲートまでダッシュ。  
なぜか搭乗ゲートを 18 番だと思っていたのだけど、18 番ゲートがみあたらず、  
16 番ゲートの人に聞いてみたら、18 番ゲートは使っていないゲートとのこと。  
どこ行きたいの？って聞かれて答えたら、16 番こそが目的ゲートだった。  
おかげさまで、搭乗々切ちょうどにゲートに到着して、飛行機に乗れました。  
...18 番ゲートが存在していたら、そっち行って間に合ってたな。  
乗れてよかった、けど、... やっぱり 1 時間 45 分の乗り換え時間じゃダメじゃん。  
ちなみに通路側の席じゃなくなってた分は、refund されてた。